

国立国語研究所学術情報リポジトリ

ハワイ大学ウエストオアフ校コレクション（ハワイ大学ウエストオアフ校所蔵）資料集

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 国立国語研究所 公開日: 2024-11-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宮崎, 早季 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/0002000340

人間文化研究機構共創先導プロジェクト共創促進研究
日本関連在外書料調査研究
ハワイにおける日系社会資料に関する
資料調査と社会調査の融合的研究

ハワイ大学ウエストオアフ校コレクション
(ハワイ大学ウエストオアフ校所蔵)

資料集

朝日祥之 (編)

宮崎早季 (著)

2024年 11 月

はじめに

朝日祥之

1. 本プロジェクトの目的

本プロジェクトは、第2期中期目標・中期計画、ならびに第3期中期目標中期計画で推進された「日本関連在外資料の調査研究」を発展的に継承するものである。本プロジェクトで扱う近現代史資料、とりわけ20世紀の資料は、その数が膨大である上、個人や地域・民間で所蔵されている場合は、その管理・運用体制が構築されていないものも多い。しかも日本語で書かれた在外移民資料の場合、世代交代をくり返すたびに日本語を理解できる者が減少する課題もある。本プロジェクトにおいては、第3期プロジェクトにおいて整備をはじめた音声資料目録データベースをさらに充実させること、所蔵資料の概要、資料管理の現状と将来の見通し、資料を所蔵することになった経緯や地域社会・関係者との関わりに関する社会調査を行う。これにより、ハワイにおける民間レベルの「歴史実践」を把握しつつ、資料の概要を把握するための目録を作成する。

2. 本報告書について

本報告書は、本プロジェクトのうち、ハワイ大学ウエストオアフ校に所蔵されている映像資料の概要（シノプシス）を資料集としてまとめたものである。2019年に日本語版を宮崎早季が作成し、それをもとに2023年に英語版も作成した。

University of Hawai'i at West 'Oahu

Collection シノプシス概要

このコレクションは、ハワイ大学ウエストオアフ校 (University of Hawai'i at West 'Oahu) 所蔵の映像資料群である。資料は主に日本語であるが、中には英語やピジン語、ハワイ語表現も含まれる。全部で 52 件の映像資料である。

コレクションの冒頭から 48 件は、バーバラ・カワカミ (Barbara Kawakami) らによる、主にハワイ日本人移民一世女性に対する聞き取りである。コレクション最後の 4 件は、フランクリン・王堂 (Franklin Odo) とハリー・ウラタ (Harry Urata) による聞き取りである。

シノプシスは日本語で作成し、それを英訳した。各回のシノプシスは MP4 ファイル 1 件につき 1 件作成し、各件 A4 一枚程度とした。

シノプシスには映像資料の情報を以下の項目について記し作成した。

1. ファイル：MP4 ファイルの名称を記す。
2. タイトル：所属機関より提示されたタイトルを記入する。
3. 内容：映像資料の内容を要約する。シノプシス作成者による補足は () 内に記す。例えば、話中に出てくるハワイ語、ピジン語の名詞はできる限りそのまま表記し、() 内にその日本語の意味を記す。
4. タイムスタンプ：インタビューの話題と、その事柄が話され始めた開始時間を記している。音声や映像の乱れやインタビュー以外の風景映像などの素材カットなどは**に囲み、その旨を記す。
5. サブジェクトタグ：映像資料内で言及されたトピックにかんするキーワードを記す。

ファイル:c25_40623_acc_1.mp4

タイトル:タツノ・オガワ

内容:明治 25 年 11 月 20 日広島県神石郡上村で 12 人兄妹の 1 番目に生まれたタツノ・オガワは、前年にすでにハワイに渡っていた夫の呼寄せとして 1913 年 7 月 26 日にハワイに到着した。到着の翌日からププケアの耕地で 65 銭を稼いだ。副業として、近所の独身男性のご飯や洗濯の手伝いをし、朝 3 時からの弁当作りの後、10 時間耕地での労働し、午後 5 時に帰宅した後は洗濯をするという生活をした。ワヒアワへ引っ越し、義姉と共に 18 人の独身男性のために料理や洗濯をして働いていたある日、わずか 20 か月だった娘が川で溺死してしまった。一人目の子供が生まれた時にも、子守などいないため、生まれて 33 日目から畑へ連れて行き、デニムで作ったテントの中で寝かせていたが、日焼けで顔の皮が何度も剥けてしまった。少し大きくなると、目を離れたすきに、テントから這って出て、熱い日差しの中で寝ていた。

タイムスタンプ:(トータル 19:14)

- 00:57 生年月日と出身地の話
- 02:00 ハワイに来るまで
- 06:23 ハワイに来る前のハワイのイメージ
- 08:08 移民船での話
- 09:40 ププケアでの仕事の話
- 11:05 副業の話
- 15:00 ワヒアワで子どもを亡くした話
- 17:00 子どもをつれての畑仕事の話
- 19:04 終了

サブジェクトタグ:写真花嫁 パイナップルプランテーション プランテーションの暮らし
一世

ファイル:c25_40625_acc_1.mp4

タイトル:オガワ

内容:パイナップル耕地での仕事が終わってからも、足袋や蚊帳を縫って売っていた。73年のハワイ生活の中で一度も病気で病院へかかったことはない。8人子どもを産んだが、すべてお医者や産婆を頼まず、義姉や友人たちと助け合った。毎月50ドルを頼母子に入れ、1000ドルに達した1921年に土地を買った。1923年に家を建てたが、その間1922年にタクシードライバーをしていた夫が強盗に遭い入院し、その医療費も払わなくてはならなかった。

タイムスタンプ:(トータル 14:01)

00:29 ここまで音声のみ

00:40 雨の日のププケアでの暮らし

01:23 様々な副業

02:56 置き薬の話

04:05 耕地でのお産

05:33 頼母子で家を買った話

06:45 夫の強盗被害の話

08:16 ニワトリを飼いだした話

08:56 話途中でカットチェンジ 写真を見ながら(遠くから)

10:51 カットチェンジ 写真を見ながら(近くから)

13:12 家の外観カット

13:50 終了

サブジェクトタグ: パイナップルプランテーション 医療 頼母子 プランテーションの暮らし 一世

ファイル:c25_40627_acc_1.mp4

タイトル:ウシイ・ナカソネ

内容:写真結婚でハワイに来るはずであったナカソネであったが、義父の急な危篤で帰ってきた夫と沖縄で結婚することとなった。写真を見た時にはとてもハンサムだと思っていたが、実物を見ると、足が思ったより小さく嫌だと思った。11歳年上ですでに1番目の妻を亡くしていた夫であったが、ナカソネはどうしてもハワイに行きたいと望み結婚した。ハワイに渡り、モクレアに数か月住んだ。モクレアでは女性は働けなかったため、女性も働けるワイアナエにすぐ移った。子どもができれば連れて働ける環境のある場所であったが、ホレホレ節を歌う暇などないくらい忙しく働いた。

タイムスタンプ:(トータル 17:56)

- 00:13 ここまで音声のみ
- 00:44 映像開始
- 01:26 写真結婚について
- 04:46 毛遊びについて
- 06:41 結婚について
- 11:47 ハワイに到着してからの話
- 13:36 移民船の身体検査
- 15:01 ワイアナエ耕地での暮らし
- 15:46 プランテーションでの仕事
- 14:53 終了

サブジェクトタグ:写真花嫁 プランテーションの暮らし 一世

ファイル:c25_40629_acc_1.mp4

タイトル:シズ・カイゴ

内容:山口県柳井市柳井で生まれたシズ・カイゴは、14 歳から 20 歳でハワイへ渡るまで裁縫教室へ通った。裁縫教室には 10 人くらい通っていたが、お茶やお花も教えてくれる先生であったため、シズは他の子どもより多く教室に通っていた。とてもかわいがってくれた裁縫の先生は夫となるカイゴの母の妹で、シズが 19 歳の時にカイゴと結婚してハワイに行かないかと勧められた。シズの尋常小学校の先生はカイゴの姉であった。カイゴの家族もよく知っていることだし、海外に出て様々なことを学びたいと思っていたシズは日本を出る時もさみしくなく、とても喜んだ。1 年間の文通のうち、1916 年 11 月にペルシア丸に乗ってハワイへ向かったが、横浜を離れて 4 日で中国人男性が船上で病死したため、ハワイの移民局で足止めをされた。日本の季節では冬であったにもかかわらず、移民船から再渡航の人々が海に投げ入れる小銭めがけて裸の男たちが海に飛び込むのを見て驚いた。

タイムスタンプ:(トータル 19:36)

- 00:06 音声スタート
- 00:33 映像スタート
- 00:51 プロフィール
- 02:00 子どもの頃の話、学校の話
- 04:19 テープ切れる
- 04:57 裁縫教室の話
- 07:45 ハワイ行を打診された時の話
- 12:53 村を出た時の話
- 15:46 移民船の話
- 16:53 移民局に着いて
- 19:09 終了

サブジェクトタグ:写真花嫁 ペルシア丸 一世

ファイル:c25_40631_acc_1.mp4

タイトル:カイゴ 2

内容:移民局で合同結婚式を挙げた。花嫁と花婿が一例ずつ並んでいる中から、名前を呼ばれて一緒に並んだ。式が終わった後は、コバヤシホテルで一泊し、翌日夫の仕事に戻るためにカウアイ島のリフエへ渡った。夫は砂糖プランテーションでルナをしていたため、生活は比較的楽ではあった。1 か月ほどリフエに住んでいたが、住人が日本に戻るため空き家になる家がモコリフエにあり、夫の仕事場へも近いことからそこへ移った。砂糖ミルで月 13 ドルの女性用の仕事があったが、言語を覚えたく何か新しいことがしたかったシズは、日本へ戻る元住人がしていたスチュワート家での家政婦の仕事を引き継いだ。スチュワート家はウィルコックス家のブックキーパーをしていた家で、シズは朝 8 時から午後 4 時まで働いた。帰宅後晩御飯の用意をして、注文があった時には、浴衣を縫って売っていた。

タイムスタンプ:(トータル 19:33)

- 00:00 音声のみ
- 00:23 映像スタート
- 00:43 移民局での結婚式の話
- 03:16 コバヤシホテルへ
- 04:43 カウアイ島リフエへ
- 07:06 ハワイでの生活
- 08:26 スチュワート家の家政婦として
- 11:34 ハワイの現実で落胆した話
- 13:45 言葉の壁で悩んだ話
- 14:58 キャンプの住人たちの話
- 15:59 ホームシックになったか
- 16:48 家政婦の仕事の話
- 19:23 終了

サブジェクトタグ: 写真結婚 コバヤシホテル サトウキビプランテーション 家政婦
一世

ファイル:c25_40633_acc_1.mp4

タイトル:カイゴ 3

内容:移民局からリフエに来て、祝言は挙げなかったがパーティーをした。当時ではなかなかのパーティーであった。ウィルコックスの家で料理人をしていた人を呼んで食べ物を出してもらった。三重の着物を着たが、すべて赤い色を重ねた。当時髪結いはいい仕事ではなかったため、髪を結える人はいなかった。さらに日本着も流行ってはいなかった。ハワイに来て 10 年目の 1926 年と 1930 年に親の見舞いのため日本へ一時帰国した。その頃、高島田などが流行っており、これを機に髪結いを習ってハワイへ帰ろうと、夫を先にハワイへ帰し、2 年間日本で髪結いや水引などを習得した。裁縫のほかにも、ハワイへ来る前に夫のいところに習って編み物も習得していたシズは、ハワイに来た当初は生活がみじめで泣いて暮らしたが、今は涙が出るほどハワイに来てよかったと心から思っている。

タイムスタンプ:(トータル 19:44)

00:04 音声のみスタート

00:33 映像スタート

01:00 祝言について

09:54 日本へ一時帰国した話

11:51 松竹梅の話

16:27 編み物の話

18:00 ハワイに来てどう思うか

18:25 夫の話

19:03 終了

サブジェクトタグ:写真花嫁 結婚 一世

ファイル:c25_40635_acc_1.mp4

タイトル:カイゴ 4

内容:シズが移住した当時のキャンプでは、まだ盆ダンスのような文化的な催しはなかった。男衆の間では相撲が流行していた。ほかの娯楽といえば、月に一回くらいで来ていた日本映画があった。栗島すみ子や五月信子らの映画を見た。そんな娯楽もしばらくはいけない時期があった。夫が独身時代に博打や酒でつくった借金を返さなければいけなかった。14年目に日本に帰った時、3か月で髪結いのコースを習得した。ハワイに戻って花嫁支度を手伝う中で、仲人として色々な人の世話をすることになった。シズは8歳年上の夫と結婚して59年幸せに暮らしているが、写真花嫁で来た人たちの中には、若い写真を送ったり、自分の勤めている白人の家の写真を自分の家のように言って送ったりした男たちがおり、また、ほとんどのカップルが10歳20歳の年の差があったり、ひどいケースもあった。

タイムスタンプ:(トータル 20:05)

- 00:07 音声のみスタート
- 00:36 映像スタート
- 01:15 キャンプでの文化活動、相撲
- 03:12 キャンプでの娯楽 映画
- 04:21 夫の借金の話
- 09:14 仲人をした話
- 14:05 現代と当時の結婚の違い
- 15:19 写真結婚での悲惨な事例
- 17:59 日本に行った時のこと
- 19:53 終了

サブジェクトタグ:写真花嫁 映画 一世 結婚

ファイル:c25_40637_acc_1.mp4

タイトル:カイゴ 5

内容:シズが 1926 年と 1930 年に日本に帰ったりしていたころから、隣の家の奥さんが病気になった。奥さんが病気療養のため日本に帰っていたため、カイゴ夫婦は隣夫婦の娘レスリーの面倒を見ていた。シズは長年子どもができず、1930 年に広島 of 病院に入院し不妊治療を受けた。しかし治療は成功せず、シズは習い事に没頭してハワイへ帰った。レスリーの母はついに病死してしまい、カイゴ夫婦は引き続きレスリーを家で面倒見続けた。レスリーの父親や祖父母がカイゴ夫婦にレスリーを養子とするか聞いてきたが、シズはレスリーが大きくなって自分で養子になりたいか決めればいいと答えた。レスリーの祖父母と協力しながら、シズはレスリーを育て、ミッドパシフィックと大学の学費も出した。レスリーがミッドパシフィックの 3 年生になった時、税法の問題でレスリーの戸籍をカイゴ家に移すことにした。大学を卒業したレスリーはモロカイで教師となり、結婚し、8 年後に孫ができたので、シズたち夫婦もカウアイからモロカイへ移った。シズはこれまで何百人という人たちの結婚を世話してきた。当時は両家から 25 円ずつもらっていた。毎週土曜日に結婚式が執り行われていて、真珠湾攻撃の前日の夜も結婚式であった。日曜日の朝、タコを買いに市場へ行った際に開戦のことを知った。

タイムスタンプ:(トータル 20:26)

- 00:00 音声のみ
- 00:36 映像スタート
- 01:10 隣家の子どもを引き取る話
- 02:17 広島 of 病院での不妊治療
- 05:08 養子にする話
- 07:08 レスリーがシズになついていた話
- 09:20 モロカイに引っ越してきた理由
- 10:23 仲人として
- 11:15 結婚式の準備の話
- 15:34 真珠湾攻撃の前後
- 19:04 終了

サブジェクトタグ:写真花嫁 家族 第二次世界大戦 真珠湾攻撃 結婚 一世

ファイル:c25_40639_acc_1.mp4

タイトル:アヤコ・キクガワ

内容:アヤコ・キクガワは熊本県に生まれた。ハワイに来るまでは蚕飼いの仕事をしていた。アヤコは結婚しにハワイに来たわけではなく、もともとの花嫁候補が他に好きな人がいると言って逃げてしまい、世話をしたおばさんの顔を立てるために変わりを名乗り出たのであった。結婚せずすぐ帰ってくるつもりであった。移民局に着いて柳行李を前に置いておくと、名前を見て夫がやってきた。柳行李を抱えた夫の後についてサイカヤホテルで夕飯を食べ、翌朝ハレイワへ向かい、ヨシダストアで小さなパーティーを開いてもらった。ハレイワへの道中、雨が降り出し、ハワイでも雨が降るのだと驚いた。ハワイに住むつもりはなかったアヤコだが、帰るすべもなく夫との共同生活が始まった。ヨシダストアの売り子をしていた夫は、そのうち船を買って漁師を始めた。ある日大しけの日に漁に出た夫は、船を失ったが本人は何とか戻ってきた。それ以来神様に感謝をすることを忘れない。

タイムスタンプ:(トータル 17:46)

- 00:35 映像スタート
- 00:43 プロフィール
- 01:23 ハワイへ来た経緯
- 03:05 カットチェンジ
- 03:06 仕切り直し。 ハワイへ来た経緯
- 06:42 夫との初対面の話
- 07:07 夫の性格の話
- 07:50 移民局での結婚式の後
- 08:54 夫婦の初めての会話
- 10:12 ヨシダストアでのパーティー
- 12:43 結婚生活
- 13:43 夫が漁師を始める話
- 17:15 終了

サブジェクトタグ:写真花嫁 熊本 ヨシダストア 漁師 一世

ファイル:c25_40641_acc_1.mp4

タイトル:キクガワ 2

内容:ハワイに長居をするつもりがなかったアヤコは、毎日日本の方に向かって拝んでいた。何もないところに拝むのはあんまりだと言って、夫が仏様を持ってきた。ハワイへ来て4年目に初めての子どもができた。エヴァから産婆さんに来てもらったが、その時にいろいろの手順がわかったので、その後出産はみんな自分一人で行った。現代では病院でお産をするが、当時はお金もかからず、産後の処理も全部自分で行った。40歳くらいの頃に生まれた息子が、ある日具合が悪いというので病院へ連れて行くと入院して様子を見ることになった。とりあえず入院させ、夜は病院に任せて家へ戻ると、容体が急変しそのまま亡くなってしまった。12歳であった。キクガワ家はラナイ島へ引っ越したこともあるが、とてもいいところであった。夫は結婚してからずっといい人で、自分は男だから一回は行ってみると言って博打に出かけたが、その後ははまりもせずいい夫であった。

タイムスタンプ:(トータル 20:00)

- 00:30 映像スタート
- 00:43 ハワイへ来ての感想
- 01:21 テープカット
- 01:30 同じ質問繰り返し
- 06:10 お産の話
- 10:50 現代と比べて
- 12:19 亡くなった息子について
- 14:36 ラナイ島へ移住
- 18:11 夫について
- 19:39 終了

サブジェクトタグ: 写真花嫁 出産 プランテーションの暮らし 一世 移民の子育て

ファイル:c25_40643_acc_1.mp4

タイトル:キクガワ 3、テイ・サイトウ

内容:ヨシダストアのおばさんが自分の着物やかざり、靴を貸してくれて結婚パーティーをした。その時の写真を故郷の父へ送ったら、返事として手紙が送られてきた。当時のキャンプではおんなじような家が並んでいたもので、暗がりの中違う家に間違っ
て入ることもよくあった。フィリピン人たちは男女一緒に風呂に入るのは嫌がったようだが、日本人はみんな老いも若いも男女一緒に風呂に入った。あったかくてすっきりして、当時恥ずかしいという気持ちは全くなかった。(キクガワ終わり)

テイは、1913年3月23日に女学校を卒業した。卒業後縫物を習いに行ったりしていた。夫との縁談は、サイトウが日本に帰ってきていた時のことであった。ハワイで成功したサイトウとの縁談は、テイの知らない間に母親に決められており、お見合いの後7月4日に日本で結婚式を挙げた。サイトウは32歳、テイは18歳であった。9月3日に日本を出発し、11日にハワイへ着いた。一等客室にいたテイは、他の三等客室でハワイへ渡った写真花嫁たちとは違い、部屋に風呂もついていたし、食事も部屋でとることができたという。ハワイへ着いた後も、他の写真花嫁たちとは異なり、移民局へ行かず船からそのまま出てきたという。オノミチ旅館で一泊し、リリハへとやってきた。

タイムスタンプ:(トータル 19:32)

- 00:04 音声スタート
- 00:39 映像スタート
- 01:23 父からの手紙
- 03:24 結婚パーティー
- 04:05 キャンプでの様子
- 07:55 キクガワ終了
- 07:56 テイ・サイトウ開始
- 08:51 縁談までの話
- 12:04 夫との話
- 16:43 一等客室でハワイへ
- 19:11 終了

サブジェクトタグ: 写真花嫁 ヨシダストア 銭湯 プランテーションの暮らし 結婚
オノミチ旅館 一世

ファイル:c25_40645_acc_1.mp4

タイトル: サイトウ 2

内容: 福島の実家でお嬢様暮らしであったテイは、ハワイへ来て近所のオノさんから米の炊き方や洗濯を習った。最初に住んだ家は、夫が自分で建てた家であったが、そのうちリリファとクニアの間に大きな家を大工に作らせた。1927年に倒産するまで、夫はパイナップルプランテーション事業で成功していた。プランテーションの宿舎も経営し、テイは独身者らの洗濯や食事の世話をしながら7人の子どもを産んだ。1918年にはパドソン社の自動車を購入し、子どもたちを学校へ送って行ったりしていた。1920年のサトウキビプランテーションのストライキの折には、エヴァプランテーションから90人の子どもたちを引き受けた。アベさんというストライキのリーダーがえぼっていたが、スペイン風邪をもってきて、自分の子どもや周りの人たちにうつした。テイもこの時スペイン風邪にかかった。結局アベの子どもは死んでしまい、夫やリリファの人間が埋葬を支度した。パイナップルの事業は儲かっており、夫はホノルルでよく芸者を買って、キムラさんと酒飲み対決をしていた。1927年に夫が倒産すると、ワヒアワへ移り洗濯屋をはじめ、もう一人子どもを産んだ。このころは人生の中で一番の苦労の時であった。

タイムスタンプ:(トータル 19:51)

- 00:32 スタート
- 01:46 ハワイへ来てからの話
- 02:16 ハワイでの新婚生活
- 03:49 パイナップル事業の話
- 04:28 お産と子どもの話
- 06:00 車の話
- 06:53 テープ途切れる
- 06:59 倒産の時
- 08:12 テープ途切れる
- 08:38 サトウキビプランテーションのストライキ
- 10:40 倒産の話
- 12:37 プランテーションの男女の話
- 15:01 夫の話
- 16:52 ハワイに来た運命について
- 19:14 終了

サブジェクトタグ： 写真花嫁 パイナップルプランテーション ストライキ サトウキビ
プランテーション 出産

ファイル:c25_40663_acc_1.mp4

タイトル: ヤヒロの写真&ポーチにいるミサキ

Pictures_Yahiro & Endo on porch

内容:

ほとんどが、写真の素材カット。主として結婚や見合い、端午の節句、日本での生活などを話しているが、インタビューというよりも雑談。

タイムスタンプ:(トータル 19:43)

- 00:34 写真のカットスタート
- 01:14 クローズショット
- 01:53 結婚写真1 夫とのツーショット
- 05:00 写真そのまま(見合いについて)
- 05:13 パスポート写真 1923年撮影 大島絋
- 07:00 結婚写真2 紋付 横から
- 08:15 結婚写真3 紋付 後姿
- 09:12 1935年 端午の節句写真
- 09:57 おばさんたちのカット
- 10:55 3人のカット(無音)
- 12:13 音声スタート
- 14:28 1人のカット 日本にいた時の話をしながら
- 18:36 ハワイへ来た時の話
- 19:15 終了

サブジェクトタグ: 写真花嫁 結婚 一世

ファイル:c25_40665_acc_1.mp4

タイトル:キミコ・ヤヒロ 1

内容:

カウアイ島マカウエレで生まれたキミコは、6歳の時、近所の未亡人とその子どもが日本へ帰るのにつれられて、福岡の祖父母のもとに送られた。それまでは日本語学校とハオレ学校に通っていた。日本では8年生まで学校に通った。キミコが10歳の時、ハワイに残っていた父が盲腸で死んだ。ハワイへは19歳の時に母と弟の呼び寄せで戻ってきた。キミコが乗ってきた船は、呼び寄せ時代最後の船であった。そのため駆け込みの写真花嫁らで船はひどい混雑であった。14日ばかりでようやくついたハワイでは、移民局で1週間過ごし、その間に南京虫にやられた。英語が喋れなかったため、英語学校に通わなくてはと思いながら白人の女性教師の家で家政婦として働いた。週に8ドル、いい時には週10ドルもらった。

タイムスタンプ:(トータル 18:38)

- 00:30 映像スタート
- 00:41 カウアイ島での生活
- 02:06 日本での生活
- 04:31 母がハワイへ来た経緯
- 06:41 呼び寄せでハワイへ戻る
- 06:50 移民船での生活
- 08:11 ハワイでの生活
- 09:31 カットチェンジ
- 09:39 福岡からハワイへ来る経路
- 13:36 家政婦の話
- 16:21 結婚の話
- 18:24 終了

サブジェクトタグ: 一世 帰米二世 家政婦 呼び寄せ移民 結婚 福岡

ファイル:c25_40667_acc_1.mp4

タイトル:ヤヒロ 2&家の風景

内容:

結婚式の支度は、イイダストアで行った。イイダストアは日本からのものを何でも売っていた。結納としては、お金のほかに酒、魚、着物などが送られた。結婚式は出雲大社でおこなったが、その日が初めて夫を見る日であった。結婚は、夫の長兄(子がなかったため、弟である夫を養子にしていた)と友達であったカナマルという人が、同郷の人だからということで結婚を世話した。

あとは、インタビューというよりも資料用の映像。トイレのカットや、屋外の釜で火をつけるデモンストレーションなど。

タイムスタンプ:(トータル 18:54)

00:30 音声スタート

00:46 結婚式の様子

03:24 3人のカット(雑談)

03:51 結婚の世話の仕方

05:21 家の離れのトイレ

06:14 庭のカット

07:00 家の離れのトイレのドアを開ける様子

10:45 釜に火をつける様子

18:38 終了

サブジェクトタグ: 一世 帰米二世 呼び寄せ移民 結婚 福岡 イイダストア

ファイル:c25_40669_acc_1.mp4

タイトル:ヤヒロ 3

内容:

結婚のアレンジは、カネマルさんとコガさんが媒酌人としてやってくれた。故郷が同じ人であったから家族の話は進み、早く結婚が整った。イイダ水産でそろえた様々な結納品と共に、結婚のお祝いとして義兄でもある義父より当時は非常に珍しかったスイス製の時計をもらった。1926年10月2日出雲大社で結婚式をした。媒酌人たちと夫とで大幣で祓ってもらった後、祝詞をあげ、太鼓や笛が鳴るなどにぎやかであった。8日後にはタクシーを雇い、現在も住む家へ移り住んできた。結婚から2年は義理の両親との同居であったため、朝3時半に置き、鉄道で働く夫の昼食づくりを始めた。義両親が日本に帰ったのちは、1時間ほど朝寝坊をした。鉄道での仕事は給料もよく、キミコは仕事に出なくてよかった。そのかわり、午前7時からシゲムラさんのところで裁縫を習い、シャツや合羽を縫った。当時布の類はアラカワストアで購入していた。

タイムスタンプ:(トータル 20:53)

- 00:40 音声・映像スタート
- 01:00 結婚のアレンジの仕方
- 01:21 映像カット
- 01:23 結婚のアレンジの仕方
- 04:37 結婚が決まるまで
- 05:58 結婚が決まった時の気持ち
- 07:28 出雲大社での結婚式
- 09:14 新婚生活
- 09:34 結婚のパーティーについて
- 11:44 夫のこと
- 14:55 一日のルーティン
- 18:40 合羽づくり
- 20:39 終了

サブジェクトタグ: 一世 帰米二世 呼び寄せ移民 結婚 福岡 イイダストア アラカワストア 裁縫 鉄道 ハワイ出雲大社

ファイル:c25_40672_acc_1.mp4

タイトル: ヤヒロ 4, pics, furo, plantation clothing

内容: いつも裁縫から 12 時ごろ一度家へ戻り、風呂の支度をしていた。薪はキアヴェの木をミズモトさんから買っていた。火をつけたまま裁縫へ戻り、夕方 5 時に帰ってくると夕飯の支度をした。夕飯には煮物が多かった。山での仕事に持っていくお弁当には汁物が良かった。塩辛いものはのどが渴くので敬遠された。結婚して 10 年子どもができなかったが、32 歳の時に初めて子どもが生まれた。それから 2 人、合計で 3 人の子どもが生まれたが、産婆はイシカワさんに頼んでみんな自宅で出産した。イシカワさんには産後も 3 週間にわたって来てもらい、赤ん坊のお風呂の世話をしてもらい、親しい友人らが洗濯などを手伝ってくれた。2 番目の子どもは難産であったため、ウエサト医師に診てもらうこととなった。

タイムスタンプ: (トータル 22:30)

00:09 音声スタート
00:34 映像スタート
01:05 一日のルーティン(午後)
02:31 料理の話
04:46 子どもの話
09:01 インタビュー終了
09:02 写真のカット
10:06 クローズアップ
10:35 クローズアップ2
11:11 お風呂の支度のデモンストレーション
18:42 洗濯のデモンストレーション
21:03 風呂敷のはなし
22:23 終了

サブジェクトタグ: 一世 帰米二世 呼び寄せ移民 出産 福岡 食生活

ファイル:c25_40676_acc_1.mp4

タイトル:ヤヒロ 続き, plantation clothing, housing

内容: 風呂敷や袱紗、博多絞りなど、生地や織物の説明をしている。実際に縫ったという合羽を見せながら、作る工程を説明する。家の外観の素材映像。

タイムスタンプ:(トータル 22:52)

00:06 スタート
00:26 風呂敷のはなし
01:04 カットチェンジ
01:15 風呂敷、袱紗、博多絞りの話
09:03 昔のものを大事にする話
10:15 合羽の詳細
15:26 バーバラアップ
16:16 合羽を干すデモンストレーション
18:29 外観
22:52 終了

サブジェクトタグ: 一世 帰米二世 呼び寄せ移民 裁縫 福岡

ファイル:c25_40678_acc_1.mp4

タイトル:ツヨシ・エンドウ(左) &ヤス・サトウ(右)1

内容:

ツヨシは福島県会津に生まれた。両親は絹織の仕事をしていた。しばらくすると両親がハワイへ行くと言って、自分たち三人兄妹を日本において行ってしまった。学校へは3年生まで通った。学校へ行く間も子守をして、赤ん坊を負ぶって教室の中で座らずにあやしていた。妹は小さいころに養子に出されたが、7つか8つの頃、ツヨシが預けられていた家に来て、帰りたくないと言った。ハワイへは20才の頃、両親の呼寄せできた。弟や妹も後に続きそれぞれハワイへやってきた。ハワイへ着くと長ハウスと呼ばれる長屋に、両親がもう一部屋間借りをしてくれ、後に来た兄弟たちと共に家族そろって住んでいた。

タイムスタンプ:(トータル 22:29)

00:31 映像・音声スタート
00:50 ハワイへ来るまで
05:43 子どもの頃の遊び
12:30 渡布の話
17:22 サトウさんの家の場所
18:30 プランテーション仕事
18:56 終了
18:57 家の外観
22:04 終了

サブジェクトタグ: 一世 呼び寄せ移民 福島

ファイル:c25_40680_acc_1.mp4

タイトル: ツヨシ・エンドウ(左) & ヤス・サトウ(右) 2

内容: ハワイへやってきた後、サトウキビプランテーションで働いた。紺のシャツを着て、パンツをはき、頭にはハンカチを巻いて(パパレ)働いていた。主にプラプラ、サトウキビの種を取る仕事をしていた。ある日、サトウキビを運んでいたら、滑って太ももに木の枝が刺さった。痛くなかったので近くにいた人に抜いてくれと頼んだが、みな怖がって抜いてくれなかった。そうこうしているうちにプランテーションの病院へ連れて行かれ、処置をされて1か月入院した。それでもなかなか治らないので、切って中を見てもみると、まだ枝が残っていたため手術で取り、もう2か月入院した。当時は子供が3つか4つになったらプランテーションへ連れて仕事を行った。それまでは、ベイベーホームと呼ばれた子供部屋へ預けた。ツヨシの夫は鉄道で働いていた。

タイムスタンプ:(トータル 19:32)

- 00:22 映像・音声スタート
- 00:34 仕事の支度について
- 00:56 カット
- 01:07 仕事の支度について
- 02:43 仕事の内容
- 04:20 ケガの話
- 09:13 入院の話
- 12:38 傷跡を見せながら
- 14:23 こどもを仕事に連れて行く話(サトウ)
- 15:45 ベイベーホームについて
- 16:02 結婚について
- 18:22 夫の仕事
- 19:25 終了

サブジェクトタグ: 一世 呼び寄せ移民 福島 サトウキビプランテーション 医療

ファイル:c25_40682_acc_1.mp4

タイトル: ツヨシ・エンドウ(左) & ヤス・サトウ(右)3

内容:

サトウキビプランテーションのストライキの時、支度してみんなで旗をもって、行列を作って歩いた。ホノルルのアラカワのあたりで旗をもって歩いていると、その旗に書いてある訴えを見てだろうか、白人の女性が涙を流していた。ストライキにはフィリピン人はいたかどうか覚えていないが中国人はいたと思う。仕事はカチケン、ホウハナ、ホレホレ何でもやった。仕事が遅いと怒るルナもいたが優しいルナもいた。

ヤス・サトウがハワイへやってきたのはまだ 18 歳にならないころであった。しんよう丸にのって、12 日かけて 12 月 24 日にハワイに着いた。冬の海は大荒れで、船酔いがすごかった。船がその日に着くことを家族は誰も知らず、移民局に着いてからも差し入れを持ってきてくれる人がいなかったの、周りの人から食べ物を分けてもらった。ヤスは 6 人兄妹の 5 番目であったため、学校へは一日もいかずずっと仕事をしていた。長兄のお嫁さんは、自分たちのためにお弁当を作ってくれたり、夕飯を作ってくれたりいろいろよく働いてくれた。日曜日に洗濯をするというのが、彼女の休み時間であった。

タイムスタンプ:(トータル 22:30)

- 00:30 映像スタート
- 02:38 アルバム・写真を見ているカット
- 03:13 ストライキの話
- 05:38 ストライキに参加した人たち
- 07:04 仕事の内容
- 10:31 日本からハワイへ渡った時の話(サトウ)
- 11:42 船での話
- 12:43 移民局での話
- 14:42 日本での教育
- 15:15 カットチェンジ(途切れる)
- 16:53 長兄の嫁の話
- 19:08 カットチェンジ(途切れる)
- 19:09 景色
- 22:25 終了

サブジェクトタグ: 一世 呼び寄せ移民 サトウキビプランテーション ストライキ

ファイル:c25_40684_acc_1.mp4

タイトル:ツヨシ・エンドウ(左) &ヤス・サトウ(右)4

内容:

プランテーションでは、毎週月曜日には「マメに働くように」と意味を込めて豆を弁当に詰めていていた。当時はお金もなく、弁当はジャンクフードであった。11時から30分間の昼休憩があり、そこでトークストーリー(雑談)をするのが楽しみであった。ヤスは、23歳の時、27歳のサトウと結婚した。この結婚はキムラさんに心配をしてもらった。ヤスとサトウは縁談前からアイカネ(aikane=友達)であった。ヤスは、ヤヒロの結婚式の様子をよく覚えているという。ヤヒロは洗濯板や靴箱やいろんなものを持ってきて、それはまあ大きなお祝い事であったため近所中が見に来ていた。当時には珍しい大きな結婚パーティーであった。ヤスは仕事で家を空けると2人目の息子が悲しがるという理由で、9年働いたプランテーションをやめ、日本人やフィリピン人労働者のための洗濯屋を始めた。1か月に2,3ドルで1週間かけて洗濯をした。休む間もなく働いたが、時々来ていた弁士を見に行くのがとても楽しみであった。ヤスは4人の子どもを産んだが、みんなイシカワさんという産婆さんに来てもらった。新潟出身のイシカワさんは、車をもっていた。

タイムスタンプ:(トータル 20:02)

- 00:32 スタート
- 00:47 弁当の話
- 04:35 結婚の話
- 08:05 ヤヒロさんの結婚パーティー
- 10:32 洗濯屋を始める話
- 14:06 仕事の内容
- 06:08 娯楽、弁士の話
- 18:15 出産の話
- 19:36 終了

サブジェクトタグ: 一世 呼び寄せ移民 サトウキビプランテーション 出産 食生活
結婚 洗濯屋 映画 弁士

ファイル:c25_40693_acc_1.mp4

タイトル: ツヨシ・エンドウ&ヤス・サトウ、ヤヒロ; プランテーション着とサトウ

内容:

カット素材用の撮影で会話はよく聞き取れないが、エンドウ、サトウ、ヤヒロ、カワカミらインタビュー陣が会話をしている。ヤヒロが結婚のお祝いにもらったスイス製の腕時計のクローズアップ、後半はエンドウの持っていた着物の説明。

タイムスタンプ:(トータル 22:17)

00:28 スタート

06:20 ヤヒロのスイス製時計

06:34 ノイズ

06:36 画面もどる

07:49 場面かわる

21:24 終了

サブジェクトタグ: 一世 呼び寄せ移民 サトウキビプランテーション 衣類

ファイル:c25_40695_acc_1.mp4

タイトル:ノブイチ・ヒガキ 1

内容:

ノブイチが3歳、兄が7歳、弟がまだ6か月の頃、母親がハワイへ出稼ぎに行った。ノブイチらは母方の祖父の家に預けられ、7年ほど育てられた。ノブイチが10歳になった時、母親が他の男と逃げてしまったため、仕送りが止まった。次は父方のおじの家に預けられ、5年経ったところで父からの呼寄せでハワイへ渡った。15,6歳の頃であった。移民局で一晩過ごし、父が麦わら帽子をもって迎えに来てくれた。汽車に乗って45分でワイパフへついた。父は母が逃げたのち、新しい妻をめぐっていた。この継母は結核を患っており、自分の死後の娘を心配し、ノブイチに彼女と結婚するようにと頼んだ。二人が結婚してすぐ、継母は亡くなった。結婚のときは、裁判所で証明をもらい、家で小さなパーティーをした。結婚式を挙げたのはそれから10年ほどたった時であった。ハワイへ着いてすぐ大工の仕事を始めた。2年続けた後、サトウキビプランテーションで3年働いたが、やはり大工の仕事に戻った。1か月に20ドルほど稼いでいた当時、魚は10セント、バナナは5セントほどであった。初めてバナナを食べた時はあまりのおいしさにたくさん食べすぎて、吐いてしまった。ハワイに来てすぐ、風邪をひいた。当時は小さな病気はプランテーションの医者に頼っていた。しかし大きな病気をした時に、注射が40ドルと当時の月給の2倍の金額であった。

タイムスタンプ:(トータル 21:45)

00:37 スタート
01:25 日本での暮らしとハワイへ来た経緯
08:01 結婚のはなし
08:58 大工の仕事
10:10 ハワイに着いた時のはなし
14:12 交通手段
15:09 病院のはなし
08:48 家を建てたのはなし
21:16 終了

サブジェクトタグ: 一世 呼び寄せ移民 サトウキビプランテーション 結婚 大工 食生活 医療

ファイル:c25_40697_acc_1.mp4

タイトル:ヒガキ 2

内容: ノブイチがワイパフの近所のあたりで家を建てた当時、家一軒を建てるのに 5 人がかりで行っていた。1 日 3ドルを稼いだ。最初は家賃など払わなかったが、(1946 年の?)ストライキの後、1 か月 18ドルを家賃、水道代 1ドルの合計 19ドルを払うようになった。今でも同じ値段で、電気は別であるが、19 ドルで住んでいる。プランテーション時代、近所にはポルトガル人、フィリピン人、パケ(中国人)、日本人が住んでいた。ポルトガル人のみがエンジンを使う仕事を任されていた。日本人が冷えたお弁当を食べているところ、パケさんは畑で調理したアツアツのご飯を食べていた。1941 年 12 月 7 日、ノブイチは仕事でルアルアレイまで行っており、そこで「どうやら爆弾が落ちたらしい」という話を聞いた。3 時ごろ自宅に帰り、日本との戦争が始まったことを知った。本願寺の前でキムラさんの息子が亡くなったという話も聞いた。家族みんなで山のふもとの方にあった父親の家に泊まった。そこからキムラさんの息子のお通夜に行ったが、道は灯火制限で真っ暗であった。

タイムスタンプ:(トータル 21:43)

00:32 スタート
00:44 家を建てたはなし
01:51 家賃のはなし
03:03 ストライキのはなし
04:16 車のはなし
06:19 サトウキビの運び方
08:18 他人種の居住区、月給のはなし
12:50 12月7日のはなし
16:50 灯火制限のはなし
17:25 ノイズ
17:35 今と昔のちがい
21:40 終了

サブジェクトタグ: 一世 呼び寄せ移民 サトウキビプランテーション 結婚 大工 食生活 第二次世界大戦 真珠湾攻撃

ファイル:c25_40699_acc_1.mp4

タイトル:(左から右) キク・ヨシダ、ツヨシ・エンドウ、ハル・ウエノ、ヤス・サトウ 1

内容:

キク、ツヨシ、ハル、ヤスはそれぞれが結婚する前からの知り合いで、10代後半の時に一緒に撮った写真を見ながら座談会を始める。プランテーションで働いていた当時は5時半の汽車に乗って、6時から仕事を始めた。プランテーションには3人の日本人ルナがいた。中でもウチガキさんは非常に怖い人だった。1920年のストライキの時にはワイパフのプランテーションから駅まで行進し、汽車に乗ってホノルルへ行き、ホノルルの街を行進した。女性たちは自分の番号を夫に管理されており、自分の稼ぎがいくらであったか覚えていない人が多い。ストライキ中は他の島の人たちがお金を送ってくれて生活ができた。参加者はそれぞれ自分の知り合いや家族の家を頼って、泊まっていた。

タイムスタンプ:(トータル 18:15)

- 00:12 映像スタート
- 00:18 写真をみながら
- 04:05 日本人ルナとプランテーションのはなし
- 07:14 カットチェンジ
- 09:04 1920年のストライキのはなし
- 09:35 ストライキの理由
- 12:09 ストライキ中の滞在先
- 14:08 ストライキ中の食生活
- 15:54 ストライキのオーガナイザー
- 17:57 終了

サブジェクトタグ: 一世 呼び寄せ移民 サトウキビプランテーション ストライキ

ファイル:c25_40701_acc_1.mp4

タイトル:(左から右) キク・ヨシダ、ツヨシ・エンドウ、ハル・ウエノ、ヤス・サトウ 2

内容: ハル・ウエノは 17 歳の時ハワイへ渡った。3 つ年下のキク・ヨシダは、1916 年にハワイへ渡った。みんな同じキャンプに住んでいたが、いろいろ分け与えられる仕事の違い、一緒にお昼を食べられる日や別々に食べる日などそれぞれであった。お弁当は毎日親が作ってくれていた。

タイムスタンプ:(トータル 19:07)

00:06 映像スタート
00:07 ウエノがインタビューへ合流する
00:56 カットチェンジ
01:25 カットチェンジ
01:36 写真を見ながら
03:29 カットチェンジ
04:21 仕事の様子
07:01 カットチェンジ
07:03 弁当のはなし
11:26 ヨシダがハワイへ来た頃
13:06 エンドウがハワイへ来た頃
16:23 ウエノがハワイへ来た頃
18:23 終了

サブジェクトタグ: 一世 呼び寄せ移民 サトウキビプランテーション 食生活

ファイル:c25_40703_acc_1.mp4

タイトル:(左から右) キク・ヨシダ、ツヨシ・エンドウ、ハル・ウエノ、ヤス・サトウ 3

内容: ワイパフの子どもたちは、海が遠くいけないうえ、川でよく水遊びをしていた。土曜日に社交クラブがある日は、子どもたちは朝からゴザをもって席取りに行き、大人たちは仕事ののち、夕飯を食べてから社交クラブへ向かった。そこではカワイ・タイヨウら弁士が来ていた。雨が降ると、傘をさすと後ろの人が「見えない」と怒るので、新聞紙をかぶってみていた。イシカワやヒガキといった役者らによる芝居も楽しみであった。男たちは、酒と博打にはまるものも多かった。ウエノの父親は、給料の多くを酒と博打につぎ込んだ。当時、食べ物などはプランテーションストアで買って、その代金は給料から天引きであった。父の酒と博打の後にはお金が何も残らないということもたびたびあった。

タイムスタンプ:(トータル 18:35)

00:29 映像スタート
00:50 写真をみながら 子どもの水遊びのはなし
02:30 社交クラブのはなし
04:23 弁士のはなし
05:49 芝居のはなし
10:03 娯楽のはなし
10:27 頼母子のはなし
11:09 博打のはなし
13:37 プランテーションストアのはなし
15:24 頼母子のはなし
16:59 子どものはなし
18:20 終了

サブジェクトタグ: 一世 呼び寄せ移民 サトウキビプランテーション 社交クラブ 映画 弁士 芝居 博打 頼母子

ファイル:c25_40705_acc_1.mp4

タイトル:(左から右) キク・ヨシダ、ツヨシ・エンドウ、ハル・ウエノ、ヤス・サトウ 4&ヨシダ 1

内容: ワイパフにはイシカワさん、ニッタさん、タンジさんの3人の産婆がいたが、4人みんなお産はイシカワさんを頼んだ。陣痛が始まったら来てくれて、子どもの出産から、へその緒がとれるまで一週間ほど様子を見に来てくれていた。お礼に反物と10ドルほどを渡していた。ハル・ウエノは夫と12.3歳差であった。ハルの父親が博打と酒にはまり、ひどい生活であったためそこから逃げるためにウエノと結婚した。

キク・ヨシダは山口県で生まれた。両親は農家であった。キクが2歳の時に父親は単身でハワイに渡り、9歳になった時に一年帰国した。その後、父は母と姉を連れハワイへ渡り、キクは親戚の家に預けられた。1916年、キクが15歳の時、さいべりや丸でハワイへ渡った。横浜で検査を受けて出発し、2,3日酔ったが、だんだんとみんなと仲良くなり慣れてとても楽しかったという。再渡航の人、初めての人、写真花嫁など様々な人が船に乗っていた。

タイムスタンプ:(トータル 21:03)

- 00:39 映像スタート
- 02:15 出産のはなし
- 07:46 ウエノ夫婦のはなし
- 08:08 ウエノの結婚のはなし
- 10:04 エンドウの結婚のはなし
- 11:30 途中でカットチェンジ
- 11:31 ヨシダインタビュー
- 13:30 日本時代のはなし
- 17:24 ハワイへ来た時のはなし
- 18:15 横浜ではなし
- 19:14 写真花嫁たちのはなし
- 20:06 終了

サブジェクトタグ: 一世 呼び寄せ移民 出産 博打 結婚 さいべりや丸

ファイル:c25_40707_acc_1.mp4

タイトル:キク・ヨシダ 2

内容: 横浜から出発して、ハワイに着いた後、直接移民局に行くのではなく、細い橋を渡ってサンドアイランドにあった千人小屋と呼ばれた場所で 1 週間過ごした。その後、移民局での検査を受けて出てくると、父が迎えに来ていた。母はホノルルの駅の近くにあったコミヤホテルで待っていた。一休みした後、車でワイパフへ向かい、ワイパフの駅からはタクシーで家まで登って行った。家に着くと、そこは長屋で 10 軒の家が天井なしにつながっていた。風呂はヤスイさんがお風呂屋さんをしていたのでそこに行ったが、トイレも共同で、男女の仕切りもなくいつも水浸しで嫌だった。ついて数日で仕事を始めた。6 時からの仕事のために 5 時半に集合して汽車に乗って向かった。そのためキャンプでは、5 時 15 分前と汽車の出る 5 時 30 分の 2 回笛が鳴った。

タイムスタンプ:(トータル 19:38)

- 00:30 映像スタート
- 00:41 移民局に着いたとき
- 01:02 日本から持ってきたもの
- 01:41 船に乗っていた人たち
- 02:11 千人小屋のはなし
- 05:36 キャンプに来たはなし
- 07:26 キャンプでの料理
- 10:00 両親との再会
- 11:22 風呂とトイレ
- 13:14 仕事の様子
- 15:21 弁当のこと
- 16:39 朝の笛
- 17:50 他民族との仕事
- 19:33 終了

サブジェクトタグ: 一世 呼び寄せ移民 コミヤホテル プランテーションの暮らし サトウキビプランテーション

ファイル:c25_40709_acc_1.mp4

タイトル:キク・ヨシダ 3

内容: ワイパフで少し働いたのち、結婚してホノルルへ引っ越した。テイラーをしていた夫と 3 年暮らしたが、全然働かず離婚することにした。プランテーションでは、家賃やもろもろがプランテーションの負担であったが、街では電話代や家賃などいろいろお金がかかった。生活に困窮し、子どもを連れてワイパフの友人の家にお世話になった。離婚はスムーズに進んだ。夫は裁判所にも来なかったため、欠席裁判で離婚が成立した。その後、ハワイに来てすぐから知っていたウエノさんの心配でヨシダと結婚した。子どもたちは高校まで行き、二人の息子は陸軍に徴兵された。息子シュウイチは、MIS の学校へいき、進駐軍として日本で通訳として働いた。2 年経ち、ハワイへ帰る 1 か月前に、雨の日のがけ崩れに巻き込まれ事故死した。

タイムスタンプ:(トータル 20:39)

00:37 ルナのはなし
01:35 家庭奉公のはなし
04:05 結婚してホノルルへ、そして離婚
07:20 ベイビーホームのはなし
08:07 離婚の裁判
09:56 ウエノさんの父親のはなし
11:37 子どもの成長
13:40 子どもの遊び
16:27 子どもの教育
16:49 息子たちの徴兵
20:06 終了

サブジェクトタグ: 一世 呼び寄せ移民 プランテーションの暮らし サトウキビプランテーション 二世 MIS 進駐軍 離婚

ファイル:c25_40711_acc_1.mp4

タイトル:キク・ヨシダ 4

内容: ストライキの時、食事は男の人たちが作っていた。朝は米とみそ汁と漬物を食べた。キクは何も持たずにストライキの行進に参加した。街を練り歩くと、他のプランテーションの人たちが見ているのがわかった。当時、耕地ごとに女性の服装(仕度)は異なっていた。キクたちの仕度はワイパフ風だった。ストライキの後に月給が良くなったのかどうかは、キクにはわからない。なぜなら、キクは一度も自分のペイチェックに触れたことがなく、いつもは父が家族全員のバンゴーをもって給料をもらってきただからだ。コンパンと呼ばれるところはみんなが集まって、そこからお給料をもらった。プランテーションの仕事を辞めて、自分の家の洗濯をするついでに隣のフィリピン人の洗濯もしていた。日本人キャンプには結構な人数のフィリピン人独身男性が住んでおり、バンジョーを弾いたりあみものをしたりしていた。13:00 から披露するハウハナソングは、ルナをしていたイマイのおじさんから習った。もうこの歌を覚えているのはキクともう一人くらいで、みんな死んでしまった。歌では、どんなに疲れていても休むとボーナスが出なくなる(no mo bonus)と歌っている。

タイムスタンプ:(トータル 19:14)

- 00:04 音声スタート
- 00:28 映像スタート
- 00:50 ストライキの時の食事
- 02:54 ストライキの時の滞在先
- 05:10 他の耕地の人々がストライキを見ていた話
- 06:15 月給の話
- 07:35 洗濯屋をする話
- 08:51 フィリピン人の話
- 12:00 ホウハナソングの話
- 13:00 歌 (13:43 まで)
- 14:26 ピジンで歌の説明
- 17:50 プランテーションでの仕事の種類
- 18:36 一番つらい仕事の話
- 19:03 終了

サブジェクトタグ: 一世 プランテーションの暮らし サトウキビプランテーション スト
ライキ ホウハナソング ピジン

ファイル:c25_40713_acc_1.mp4

タイトル:ウメヨ・シマオカ(左)&テル・オキタ(右) #1

内容: テルは 1900 年日本に生まれた。ハワイへは 12 歳の時、1912 年にカワイロアへやってきた。到着の 2 日後には妹が生まれ、当分は妹の子守や家のことを手伝っていた。1920 年のストライキの後に、既に大きな家を持っていた兄を頼ってワイパフへ。その後、カウアイ島カパアへ移るが、叔父さんに連れられてホノルルへ出てきた。ホノルルでは白人の学校教師の家で家庭奉公をして、5.6 年働いた。1 日に 1 ドルを稼いだが、結婚を機にやめた。結婚相手のオキタは、写真花嫁を日本からもらったが、この花嫁がハワイへ着いてみると妊娠していたことがわかり、破談となっていた。そこに、テルに話が回ってきて結婚することになった。結婚後、しばらくして、以前の家庭奉公先の主人から、仕事を紹介され、カイムキにあった当時のホノルル市長 John Wilson 宅で仕事をした。その後、ペニンシュラに渡り、Oahu Railway and Land Company の社長であった Dillingham の 2 番目のトップの家で奉公をした。この時は夫のオキタも一緒に住み込みでヤードボーイをしたり家の中の掃除をしたりして働いた。

タイムスタンプ:(トータル 19:12)

- 00:10 音声スタート(音割れ)
- 00:48 映像スタート(情報カット)
- 00:56 シマオカ+オキタの映像スタート
- 01:18 オキタのハワイに来た流れ
- 02:29 ワイパフへ引っ越してその後
- 04:02 家庭奉公をした話
- 06:10 結婚のいきさつ
- 08:28 市長の家での家庭奉公
- 12:00 カニ釣り・魚釣りの話
- 15:04 家庭奉公先での料理の話
- 18:51 終了

サブジェクトタグ: 一世 プランテーションの暮らし サトウキビプランテーション 家政婦 写真花嫁

ファイル:c25_40715_acc_1.mp4

タイトル:ウメヨ・シマオカ(左)&テル・オキタ(右) #2

内容: テルがオースティン(Onomea Sugar Company のオーナーか?)の家で働くようになったのは、イノクチさんとミヤギさんの紹介であった。当時夫のオキタはプランテーションで石割の仕事をしていた。夫は他の多くの人と同じでよくギャンブルをして遊んでいた。

ウメヨも白人宅で家庭奉公をしていた。主人家族は晩御飯にはフォーマルなフレンチを食べることが好きで、ウメヨは毎晩着物を着て配膳を行っていた。1か月に50ドルをもらい、なかなかよい待遇を受けた。ウメヨは3人姉妹の長女であり、苗字を残すために婿養子を取った。したがって結婚するとき、通常は仲人が女性を男性の家へ連れて行くが、ウメヨの場合は仲人が夫をウメヨの家へ連れてきたという。

前半はテル・オキタの語り。日本語で受け答えをしている。後半はウメヨ・シマオカの語り。英語で受け答えをしている。声が小さく聞き取りづらい。

タイムスタンプ:(トータル 15:49)

00:03 音声スタート

00:37 映像スタート

01:01 オースティン家での仕事

04:25 夫のギャンブルの話

07:21 シマオカとオキタの出会い(以降シマオカの語り)

07:57 奉公先での料理の仕方

10:20 休みの日の過ごし方

10:41 奉公先での待遇

13:23 結婚の話

15:06 終了

サブジェクトタグ: 一世 二世 プランテーションの暮らし サトウキビプランテーション
家政婦

ファイル:c25_40717_acc_1.mp4

タイトル:ウメヨ・シマオカ(左)&テル・オキタ(右) #3

内容: ウメヨは、プランテーションのオーナーであったロレンジ(Hans L' Orange、Oahu Sugar Co.オーナー)宅で家政婦をして働いた。月に150ドルを月給としてもらい、とてもいい待遇であった。主人宅ではよく海軍などから友達を呼び、ディナーパーティーが行われていた。

テルは12月7日、真珠湾の攻撃を自宅の2階から見ていた。大きな花火だと思ったという。戦争が始まった後、病院で働きだした。エヴァのあたり大爆発があり、多くの負傷者が出たが(1944年ウエストロックの爆発)、病室が足りないのでそこら中にけが人が寝転がっていた。病院では看護師や病人のための料理人として働いた。ユニオンのおかげで月給は400ドルととてもいい稼ぎであった。

タイムスタンプ:(トータル 19:57)

00:03 音声スタート

00:31 映像スタート

00:40 家庭奉公の話

02:25 途切れる

02:30 月給の話

03:25 ディナーパーティー

04:55 通勤の様子

05:50 料理の話(ここまでシマオカの語り。英語で。)

08:20 若いころのシマオカとオキタ

09:09 病院勤めの話(ここからオキタの語り。日本語で。)

09:28 12月7日の話

10:25 病院での仕事

13:25 病院の月給

14:15 エヴァの爆発の話

19:07 終了

サブジェクトタグ: 一世 二世 プランテーションの暮らし 家政婦 第二次世界大戦 真珠湾攻撃 医療 ウエストロックの爆発

ファイル:c25_40719_acc_1.mp4

タイトル:ウメヨ・シマオカ(左)&テル・オキタ(右) #4

内容: 日本風の料理とハオレ風の料理では、断然ハオレ風の料理の方が簡単だとシマオカは話す。02:00 ころからは、写真を見ながら談笑する。

タイムスタンプ:(トータル 10:54)

00:32 映像が始まる(それまで音声のみ)

00:44 ハワイと日本の料理の違い

02:00 カットチェンジ アルバムを見ながら会話 (音声不明瞭)

02:35 アルバムを見ながら会話。音声聞こえ出す。写真見えず。

06:18 カットチェンジ Hans L' Orange Family 写真を見ながら会話。

07:24 Hans L' Orange Family 写真のアップ

08:06 音トビ

08:52 Hans 氏と妻のアップ ナレーションなし

09:35 L' Orange 家のダイニングルーム写真

10:27 終了

サブジェクトタグ: 一世 二世 家政婦

ファイル:c25_40849_acc_1.mp4

タイトル:着物を着たサイトウ, キクガワ一家

内容: 全体的に音声不明瞭(音量が小さい)で、インタビューではなくカット素材

タイムスタンプ:(トータル 21:37)

00:34 映像スタート

03:27 帯の説明

07:43 サイトウの卒業証書

09:04 花の絵

09:52 文化刺繍

10:26 羽衣の絵

11:08 ソファに座るサイトウ

12:00 生け花

13:35 華道の免許

14:24 キクガワ家の仏壇

15:58 ソファに座るキクガワ一家

21:27 終了

サブジェクトタグ: 一世

ファイル:c25_40851_acc_1.mp4

タイトル:結婚式の歌

内容: 全体的に音声不明瞭(音量が小さい)で、インタビューではなくカット素材

タイムスタンプ:(トータル 11:33)

00:32 映像が始まる

01:02 歌いだし (2曲?)

04:06 カットチェンジ

04:36 歌いだし

07:54 カットチェンジ 後ろから。譜面見える。

08:11 歌いだし

08:46 カットチェンジ 謡曲高砂?

10:58 終了

サブジェクトタグ: 一世 音楽 結婚

ファイル:c25_40957_acc_1.mp4

タイトル:カイゴ、着物と家紋1

内容: 全体的に音声不明瞭(音量が小さい)。紋付着物を見ながら、紋の意味や、染め方などを話す。

タイムスタンプ:(トータル 19:24)

00:06 音声スタート

00:35 映像スタート

01:00 紋付をもって話を始める

19:05 終了

サブジェクトタグ: 一世 衣類

ファイル:c25_40959_acc_1.mp4

タイトル:カイゴ、着物と家紋 2

内容: 全体的に音声不明瞭(音量が小さい)。紋付着物を実際に羽織ったりしながら、模様などの説明をする。

タイムスタンプ:(トータル 18:59)

00:06 音声スタート
00:35 映像スタート
00:36 家紋の説明
02:40 バーバラが羽織る
08:04 裾の模様のアップ
10:54 カイゴが羽織る
13:01 模様の説明
18:48 終了

サブジェクトタグ: 一世 衣類

ファイル:c25_40961_acc_1.mp4

タイトル:カイゴ、赤い着物とその他 3

内容: 全体的に音声不明瞭(音量が小さい)。着物のたたみ方、帯の説明、宮参り衣装の説明。

タイムスタンプ:(トータル 20:32)

00:38 映像スタート、着物のたたみ方

00:50 音声スタート

02:35 帯の紹介

07:57 宮参り衣装の説明

15:37 帯のクローズアップ

20:23 終了

サブジェクトタグ: 一世 衣類

ファイル:c25_40963_acc_1.mp4

タイトル:カイゴ(着物+盆石)4

内容: 素材用映像。カイゴ夫妻の交換写真や夫婦の写真、盆石の紹介。

タイムスタンプ:(トータル 16:20)

- 00:33 音声・映像スタート 紋
- 01:44 着物の柄
- 02:48 カイゴ(夫)の交換写真
- 03:54 カイゴ(妻)の交換写真 19歳
- 04:38 クバ夫妻の結婚式写真
- 06:13 花嫁支度の写真
- 06:46 ノイズ
- 06:49 カイゴ(妻)の交換写真 (同じもの)
- 07:38 カイゴ(妻)の写真
- 08:42 カイゴ夫妻の写真 1959 か 1960
- 10:34 盆石をしているカイゴ(妻)の写真
- 11:44 盆石の説明
- 15:55 終了

サブジェクトタグ: 一世 写真花嫁 結婚 衣類

ファイル:c25_40967_acc_1.mp4

タイトル:着物の着付け1

内容:花嫁支度のデモンストレーション。カイゴら数人で紋付の着付けを行う。

タイムスタンプ:(トータル 20:51)

00:35 映像スタート

05:32 着付けで一番大切なこと

06:32 着付け中の花嫁との会話

20:41 終了

サブジェクトタグ: 一世 結婚 衣類

ファイル:c25_40969_acc_1.mp4

タイトル:着物の着付け2

内容:花嫁支度のデモンストレーション。カイゴら数人で紋付の着付けを行う。

タイムスタンプ:(トータル 14:42)

00:00 映像スタート (1の続き)

01:27 はこせこ(笥迫)を衿に入れる様子を撮影。

08:08 完成

08:26 音声繰り返し 完成姿を写真撮影

10:30 会話なし

14:37 終了

サブジェクトタグ: 一世 結婚 衣類

ファイル:c25_40971_acc_1.mp4

タイトル: マサエ・タムラ (カイゴの友達)1

内容: マサエは 1902 年ハワイ島ハマクアで生まれた。両親は日本で結婚し、マサエを妊娠しているときにハワイへ渡ってきた。プランテーションで真面目に働いた両親はマサエが7歳の頃、日本に帰るための十分なお金を貯めることができた。日本に帰国する前に、マウイ島に住む同郷の友人に挨拶をしに行くといった父は、一晩のうちにギャンブルでお金をなくしてしまい、日本行きはなくなった。それから一家はラハイナに引っ越し、プランテーションで働くことになった。マサエは3年生まで学校に通ったが、12 歳のある日、学校から家に帰ると熱が出て髪の毛がぽろぽろと抜け落ちた。それから学校に行っていないという。プランテーションで働くときは、皆ホレホレ節を歌って調子を取った。移民 100 年祭の時には、日本から来たばかりの領事がやって来て、ホレホレ節を聞きたいと言ったので歌った。プランテーションでは苦労をかさね、逃げる人や自殺する人、早く未亡人になる人などいて皆大変であったが、自分は酒もたばこもやらない優しい夫と恋愛結婚ができて幸せだと話した。

タイムスタンプ:(トータル 19:26)

- 00:32 映像スタート
- 01:29 小さいころの話
- 05:07 プランテーションでの仕事
- 06:49 ホレホレ節
- 07:17 「いこかメリケン」を歌う
- 08:52 プランテーションでの苦労の話
- 13:10 カット
- 13:30 自殺をした人の話
- 16:44 マサエの結婚の話
- 19:19 終了

サブジェクトタグ: 二世 結婚 サトウキビプランテーション ホレホレ節 ピジン

ファイル:c25_40974_acc_1.mp4

タイトル: マサエ・タムラ (カイゴの友達)2

内容: マサエの結婚式は、近所の人たちがやってきた。母親は結婚のずっと前に病気になる妹と弟を連れて日本に帰っていた。母親が死んだあと、二人はハワイに戻り、弟はホノルルで寿司屋をした。MIS に入り 28 歳の時、日本で通訳として働いた。戦場から帰ってきたときは心労でか、顔がやせ細り別人のようになって帰ってきた。今の暮らしは非常にお金がかかる。仕事もない。昔は、ハワイアンが非常に多かったモロカイも今ではフィリピン人が非常に多い。日本人はそんなにいないため、日常的に英語を話す機会が多い。

タイムスタンプ:(トータル 21:09)

00:36 映像スタート
01:01 結婚式の話
03:05 母と弟妹の話
06:37 モロカイに引っ越した時の話
09:12 昔と今の違い
11:21 今のモロカイ
12:40 英語の上手さ
14:59 家を買う話
15:01 通りの映像(素材)
20:59 終了

サブジェクトタグ: 二世 結婚 MIS ピジン

ファイル:c25_40977_acc_1.mp4

タイトル:カイゴと写真

内容: シズ・カイゴと共に、1932年から1941年の間にシズが着付けを行った花嫁たちの写真を見ながら、昔の結婚式の様子を話す。母親がしっかりした家庭で育った女性は、母親から紋付をもらい、和装で結婚式を挙げた。当時男性はタキシードなど持っておらず、普通の暗い色のスーツで結婚式を迎えた。一番多い日は一日で3人の着付けを行った。たまに、結婚式の前に妊娠をしているというようなケースもあった。

タイムスタンプ:(トータル 21:56)

- 00:05 音声スタート
- 01:00 映像スタート
- 01:33 写真を見ながら結婚式の話
- 03:26 1日に3人着付けた話
- 05:01 結婚式の前に妊娠していた人の話
- 06:58 結婚のお祝い品
- 10:24 日本で着付けを学んだ話
- 19:42 インタビュー終了
- 19:43 ストリート映像
- 21:50 終了

サブジェクトタグ: 一世 結婚 衣類

ファイル:c25_40979_acc_1.mp4

タイトル:カイゴと写真、宝船2

内容: シズ・カイゴは 1975 年 4 月 29 日に表彰された。その時の勲章を見ながら、話をしている。

タイムスタンプ:(トータル 18:55)

00:04 音声スタート

00:31 映像スタート

01:44 表彰された話

04:26 昔と今の話

06:50 勲章(素材カット)

08:32 水引の説明

18:27 終了

サブジェクトタグ: 一世 結婚

ファイル:c25_41247_acc_1.mp4

タイトル:カツエ・アサクラ1

内容: カツエは 17 歳の時に、熊本からワイナクへ写真花嫁としてやってきた。熊本では家が商店を構えており、夫の姉がちよくちよくのぞきに来るので何かと思っていたら、ある日夫の写真をもって縁談をもってきたという。ハワイへ来るときは言葉が通じるか不安であったが、ついてみると日本人ばかりで安心した。移民局から連れてこられて、キャンプに入った時にマネージャーの家の前で止まって、「ここが家か」と思っていたら、実際に住むのは比べ物にならない家だった。

タイムスタンプ:(トータル 20:54)

- 00:33 映像スタート(外観)
- 05:46 ノイズ
- 05:53 映像スタート
- 06:06 インタビュースタート
- 06:44 結婚式の様子
- 07:11 キャンプに来た時の話
- 08:00 マネージャーの家を見た時
- 11:14 同郷結婚
- 15:39 キャンプの呼び方
- 20:38 終了

サブジェクトタグ: 一世 結婚 写真花嫁 サトウキビプランテーション 熊本

ファイル:c25_41249_acc_1.mp4

タイトル:アサクラ 2

内容: ハワイに着いた 2、3 日目から、カツエはイエロージャケットというハチに刺された。アバラを刺された時には、大きくはれ上がったりした。プランテーションでの仕事は朝から晩まで、昼は 1 時間ご飯休憩と少しのたばこ休憩があったが、その他はまじめに働いた。男女分かれて働く場所を指定されていたが、ルナがいなくなれば集まって談笑したりした。ルナが近寄ってくると見張りが咳払いをしてみんなに仕事に戻るよう伝えた。仕事の際はホレホレ節を歌いながら、ご飯休憩のときはサトウキビを太鼓のバチのようにして、太鼓をたたいて楽しんだ。ホレホレ節の中にはセックスに関することやあまりよくない言葉も入っていたが、みんな恥ずかしがらず歌っていた。

タイムスタンプ:(トータル 20:01)

00:07 音声スタート

00:30 映像スタート

00:45 ハチに刺された話

03:33 プランテーションでの仕事の話

04:44 ホレホレ節を歌う

07:05 王堂による英語での解説

07:41 ホレホレ節と太鼓

11:33 王堂による英語での解説

12:36 ストライキと賃金、ホレホレ節の内容

19:02 終了

サブジェクトタグ: 一世 サトウキビプランテーション ストライキ ホレホレ節

ファイル:c25_41251_acc_1.mp4

タイトル:アサクラ 3

内容: 禁酒時代でもパーティーなど集まりの時にはお酒がどこからか出てきていた。初期のプランテーションハウスは、サトウキビの葉を屋根に用いていたが、そこに日本から持ってきたかぼちゃの種が飛んで、屋根からかぼちゃがなることがあった。日本風の人を、ボブラ(かぼちゃの意)と呼んで冷やかした。娯楽はなかなかなかったが、誰か三味線をもってきていたり、歌なんかを歌ったりした。働いているときは子供を幼稚園と呼ぶ場所に預けていた。

タイムスタンプ:(トータル 18:45)

- 00:03 音声スタート
- 00:37 映像スタート
- 00:48 酒の話
- 01:48 仕切り直し
- 01:58 再度仕切り直し
- 02:09 禁酒時代の酒の話
- 03:34 ジャパンボブラの語源の話
- 05:24 王堂による解説(英語)
- 06:37 娯楽について
- 07:43 「熊本どっこいしょ」歌う
- 08:23 ヒロへの秘密の旅
- 09:51 王堂による解説(英語)
- 11:30 幼稚園のはなし
- 14:20 ホレホレ節のはなし
- 16:28 ホレホレ節歌う
- 17:34 ホレホレ節の中のハワイ語
- 18:26 終了

サブジェクトタグ: 一世 サトウキビプランテーション ホレホレ節

ファイル:c25_41253_acc_1.mp4

タイトル:アサクラ 4

内容: アサクラによるホレホレ節の歌の披露と、ハリー・ウラタによる解説。後半は写真。

タイムスタンプ:(トータル 18:29)

- 00:31 映像スタート
- 00:49 仕切り直し
- 01:51 「ゆこかメリケン」歌
- 02:35 「ゆこかメリケン」歌い直し
- 03:08 「明日はサンデー」歌
- 03:36 ウラタによる解説
- 04:16 王堂による解説
- 05:46 「雨はふるふる」歌
- 06:19 ウラタによる解説
- 07:51 インタビュー終了
- 07:55 ウラタと王堂のショット(音声なし)
- 09:58 写真
- 18:26 終了

サブジェクトタグ: 一世 サトウキビプランテーション ホレホレ節

人間文化研究機構共創先導プロジェクト共創促進研究
日本関連在外書料調査研究
「ハワイにおける日系社会資料に関する資料調査と社会調査の融合的研究」

ハワイ大学ウエストオアフ校コレクション

(ハワイ大学ウエストオアフ校所蔵)

資料集

2024（令和6）年11月1日 発行

編者：朝日祥之

著者：宮崎早季

発行：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立国語研究所

〒190-8561 東京都立川市緑町 10-2

電話：042(540)4300 (代表)